

「防災コンベンション」で自衛隊をアピール

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之（一等陸佐））は、11月19日（土）と20日（日）、新東名高速道路浜松サービスエリアで開催された「防災コンベンション」において広報活動を実施した。主催の中日本エクシスは、中日本エリアにおけるサービスエリア等の管理・運営を行っており、地震等の大規模災害発生時に自衛隊が被災地に向かう進出拠点として同社管轄のサービスエリア等の活用が計画されている。同イベントは、中日本エクシスと協力した自衛隊の防災対応についてPRするとともに、その活動の一部を体験してもらおうと自衛隊への理解促進と安心・安全に関する啓発を目的として実施された。

今回は東部方面隊の隷下部隊（第34普通科連隊・第1ヘリコプター隊・東方音楽隊）と静岡地本が協力し、陸上自衛隊の装備品展示のほか、高機動車の体験搭乗、野外炊具による給食体験、音楽演奏、ヘリコプターの離発着等大規模な展示が行われた。

静岡地本は広報ブースを開設し、防災パネルの展示、ミニ迷彩服の試着体験、非常用糧食の展示、隊員が普段使用する重さの背嚢を背負う体験、自衛官の採用制度説明を行ったほか、静岡地本マスコットキャラクター「しずぼん」も登場し、ヘリコプターの前で来場者と楽しく触れ合った。

また、会場内特設ステージで行われたトークショーに東部方面隊広報室の企画幹部・原野3等陸佐と静岡地本浜北所長及び「しずぼん」が出演し、来場者に自衛隊の活動内容やどうしたら自衛官になれるのか等の採用制度をPRした。

静岡地本は、今後もこのようなイベントの場を活用して募集制度を丁寧に説明していくとともに、防災先進県である静岡にある地本として安心・安全に関する啓発に積極的に協力していく。



しずぼんが「JA大井川ふれあいまつり」で自衛隊をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之（一等陸佐））は、11月23日（水）、航空自衛隊静岡基地とともに、JA大井川静岡支店で行的「JA大井川ふれあいまつり」を支援した。

このイベントは、消費者と農家の交流深化を目的に毎年行われており、この日もジャガイモの加工販売や、生活用品・農機具の展示即売会等を楽しむ多くの来場者で賑わった。

藤枝地域事務所は、地域との連携強化及び自衛隊への理解促進のため、自衛隊オリジナル缶バッジの配布を実施した。「自衛隊缶バッジ」という珍しさに加え、来場者が選んだ絵柄を目の前で手作業でバッジにする様子が好評を博し、「会場内でバッジ付けている人を見て自衛隊ブースを訪れた」という人も多く、配布予定数の300個が瞬く間に無くなった。

また、静岡地本マスコットキャラクター「しずぼん」が会場に登場すると、多くの家族連れや子供達に囲まれ、一緒に写真撮影をする等大変な人気ぶりであった。「しずぼん」が自衛隊のキャラクターだと初めて知った来場者は「生真面目で堅苦しい自衛隊のイメージが柔らかいものに変わった」と話していた。

静岡地本は、今後もこのような地域のイベントに積極的に参加して住民と自衛隊員の交流の場を設け、自衛隊への理解促進と連携強化に努めていく。

